

# 天売島プロジェクトとは？

What is the Teuri Island Project?

天売島プロジェクトは、北海学園大学経済学部の実践型授業「地域協働フィールドワーク」で天売島の地域活性化活動に取り組む学生団体です。私たちの活動を少しだけ紹介します。

## ◆「てん」のオープン

私たちは島民と観光客、学生の交流の場を開設し、「てん」と名付けました。「てん」はフェリーターミナル付近の空き店舗を活用したもので、私たちが天売島にいない期間も島民や外部の方に利用されています。これまで島の学生の音楽ライブや、札幌のシェフによるイタリアンバーなどに利用していただきました。私たちが滞在期間に、海産物や島では食べられないスイーツを提供する飲食店を営業しています。



「てん」については  
こちらから! ▼

[@teurigakuen](#) [teuri\\_project](#)  
<https://fb.com/hgueconlocalinternships>

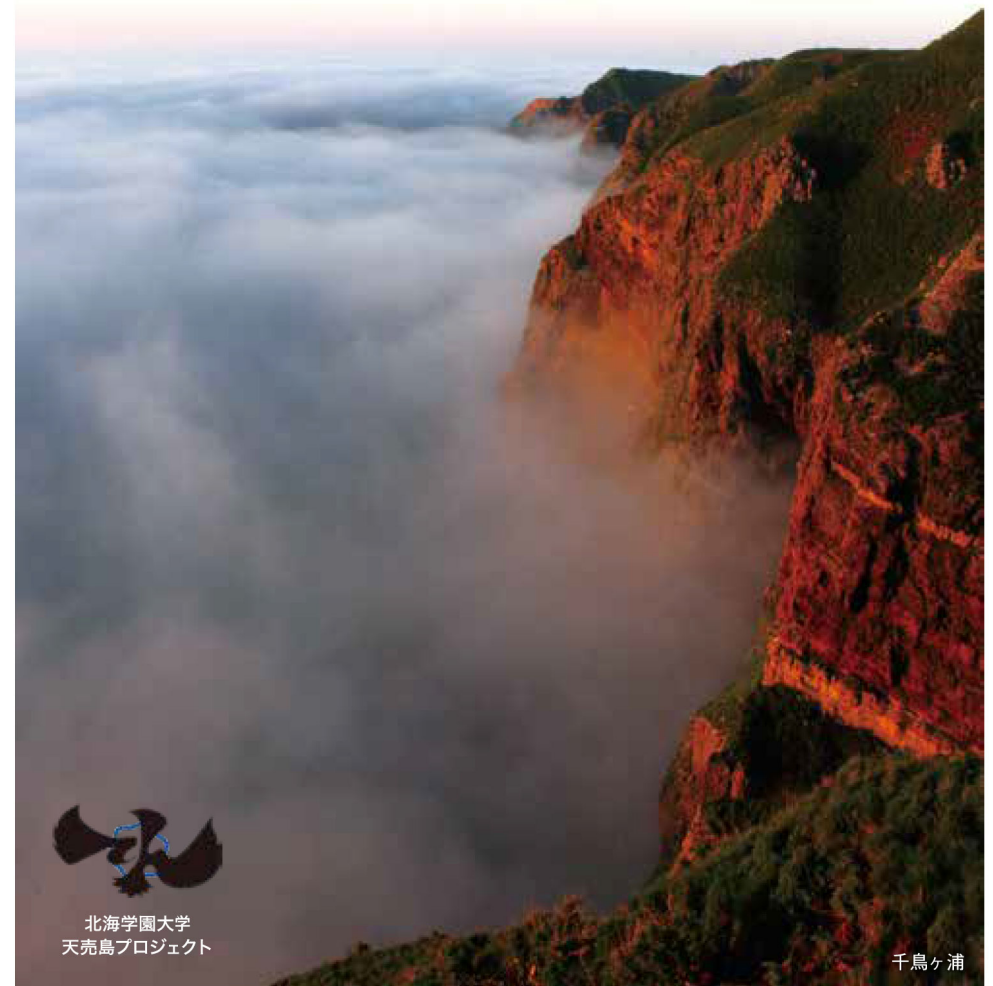
本書は公益財団法人・トヨタ財団の「2018年度国内助成プログラム」による助成を受けて刊行されたものです。

[編集] 市川雄二郎・池田恵梨・山崎翔太・下出海斗(北海学園大学経済学部生)  
[発行] 2020年8月／北海学園大学経済学部地域協働推進協議会  
[協力] 天売島おらが島活性化会議、北海道エンブリッジ [デザイン] プロコム北海道  
[お問い合わせ] 北海学園大学経済学部地域協働推進協議会(担当:水野谷志志)  
〒062-8605 北海道札幌市豊平区旭町4-1-40 tel.011-841-1161

学生の天売島観光ガイド

# てうりたび

TEURI ISLAND



北海学園大学  
天売島プロジェクト

千鳥ヶ浦



ゴメ岬でのシーカヤック体験



巖島神社祭に揚げられる大漁旗

目次

- 02 - 書籍の刊行目的／発行人あいさつ／執筆者紹介
- 03 - 天売島地図
- 05 - B・port／炭火海鮮番屋
- 07 - ReMINCArnation
- 09 - 海の宇宙館
- 11 - 赤岩展望台／海鳥観察舎／観音岬展望台
- 15 - ネイチャーライヴツアー
- 17 - 川口商店
- 19 - 巖島神社祭
- 21 - 編集後記／地域協働フィールドワークについて

## 書籍の刊行目的



海、魚、鳥、自然——。

天売島やこの場所で暮らす人には多くの魅力が詰まっています。

私たちは天売島との関わりを重ねていく中でこれを肌で感じました。

天売島の魅力をもっと多くの方に伝えたい。

天売島を訪れた方々にもっと天売島を楽しんでいただきたい。

こうした想いを胸にインタビューを重ね、冊子にまとめました。

なおこの書籍は2018年度刊行した「学生がみた 移り変わる天売島」の姉妹本  
ですので、ぜひ合わせてご覧ください。

## 発行人あいさつ



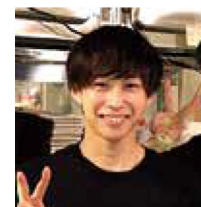
北海学園大学経済学部地域協働推進協議会 会長  
北海学園大学経済学部教員

水野谷 武志

学生が島の魅力を自ら発見して島の内外に伝えるために、この冊子を作成しました。これまでと変わりなく協力していただいた島の方々に感謝するとともに、学生が感じた島の魅力が1人でも多くの人に伝われば幸いです。

## 執筆者紹介

北海学園大学経済学部生が天売島を訪問し、4名で地元の方にインタビューを行いました。



リーダー 4年生  
市川 雄二郎



4年生  
池田 恵梨



3年生  
山崎 翔太



3年生  
下出 海斗



# 天売島

teuri-tou

北海道の北西、日本海に浮かぶ天売島は留萌管内羽幌町に属し、羽幌町から西に27kmほどの沖にあります。  
羽幌新フェリーターミナルからフェリーに乗り、約90分で到着します。  
漁業を主な産業としており、5-9月の観光シーズンには名物のウニをはじめとする豊かな海の幸や雄大な自然を目当てに多くの観光客が訪れます。  
また世界最大のウトウ繁殖地、国内最後のウミガラス（オロロン鳥）繁殖地であり、国立公園に指定されています。



面積	5.50km <sup>2</sup>
周囲	約12km
人口	約300人

## [ 天売島の歴史 ]

豊かな海産物や山の恩恵を受けて、江戸時代末期に倭人が暮らし始めたといわれる。天売島は昭和29年、焼尻島とともに羽幌町と合併。高度経済成長期には、漁業において旺盛な水揚げを誇った。この時人口は2200人以上となり、ピークを迎えた。しかし、昭和33年以降のニシン不漁を背景に、人口も減少。現在では約300人が暮らしている。今も変わらず漁業や観光業が中心産業である。

洋風料理も楽しめる

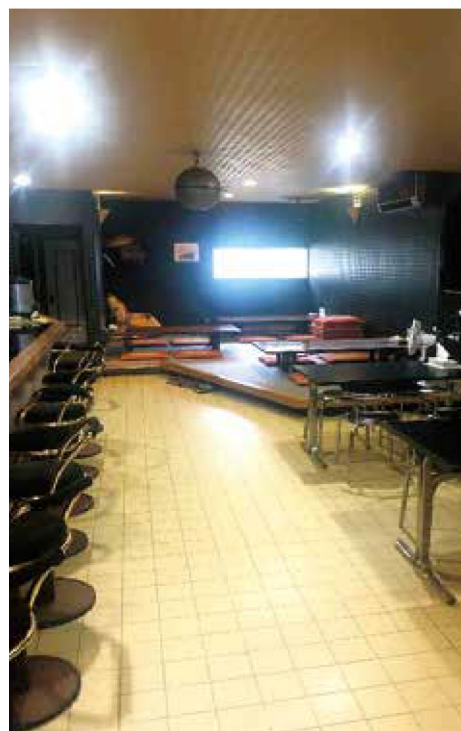
# B・port

下出海斗

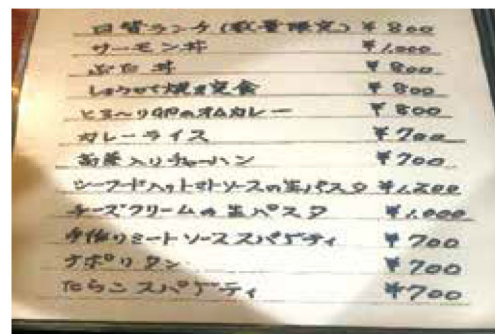
経済学部 3年

島民・観光客の方々に愛されるB・port。お祭りの日は打ち上げ会場としても利用されています。

- フェリーターミナルから徒歩18分
- tel 01648-3-5835
- 営業時間/11:00~14:00(不定休)



カウンター席もあり、バーのようなおしゃれな雰囲気を楽しめます。



B・portにはサーモン丼や豚丼、生パスタなどメニューは様々です。毎日行っても飽きません!



おすすめの日替わり定食をいただきました! この日は生姜焼き定食です! 日替わり定食は漁師の方が好む肉料理が多いそうです。

新鮮な海産物を炭火で!

# 炭火海鮮番屋

大友百里子

下出海斗

経済学部 3年

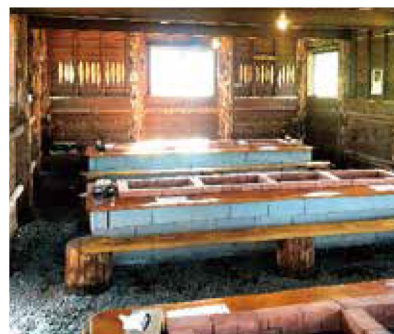
炭火海鮮番屋は海産物の豊富なメニューが魅力。漁師のご主人が獲った新鮮な海鮮料理を食べることができます。新鮮な活ウニや貝類を炭火で焼くことができます。どれも絶品です!(メニューや価格は2019年8月時点のものです。今後変更される可能性があります。)



- フェリーターミナルから徒歩8分
- tel 01648-3-5714
- 営業時間/11:00~14:30(不定休)



炭火でいただく活ウニ・活青つぶ・活ホタテ。(コロナウイルスの影響により、焼き物の提供を中止しております。)



仕切りがなく、開放感があります。(コロナウイルスの影響により、仕切りを設けています。)



おすすめメニューは炙りウニ丼。時期によって香りや味が変わります。是非食べていただきたい逸品です!!





△綺麗な装飾となった漁具。再度輝く姿に感じます。

古民家カフェ

# ReMINCArnation

宇佐美彰規 × 池田恵梨  
経済学部 4年

ニシン番屋を改築しオープンした古民家カフェ。過去に使われていた漁具や民具などが飾られており、落ち着いた雰囲気を感じることが出来ます。歴史を感じる造りからニシン番屋として使われていた当時の様子が思い起こされます。5分程度で読み終わる本も取り揃えられているので、フェリーの待ち時間に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

- フェリーターミナルから徒歩1分
- tel 090-1097-0500
- 営業時間/9:00~11:00、13:00~16:00  
(5月~8月の土日、祝日)



新商品の抹茶ミルクフロズン(左)とマルベリースムージー(右)。



**抹茶ミルクフロズン ¥400**

抹茶の豊かな風味とミルクの甘さがマッチした抹茶ミルクフロズン。さっぱりとしたお味のため、夏でも美味しくお召し上がりいただけます。



**マルベリースムージー ¥450**

島で採れたスーパーフードである桑の実(マルベリー)を使ったマルベリースムージー。中にはマルベリーの他にバナナやヨーグルトなど入っており飲みやすいだけでなく、マルベリーは健康や美肌にも良いとされているため非常におすすめです。



ReMINCArnation 店主

宇佐美 彰規さん

元地域おこし協力隊員。元々、島や海鳥が好きで、約10年間全国の島巡りをされています。天売島の地域おこし協力隊の募集を見て「これだ!」と思って応募し、地域おこし協力隊として観光や地域のお手伝いをされてきました。運営していた「ゲストハウス天守礼」に隣接した空き家の雰囲気が好きでずっと何かしたいと考えていたそう。それがついに形となったのがReMINCArnationです。

## 店名の由来について

ReMINCArnationの店名の由来は「reincarnation」。輪廻・再生・生まれ変わりを意味する言葉です。そこに「M」を入れてMinca=民家の意味を持たせ、古民家の再生を表現した素敵な名前となっています。物や建物、古材にも魂が宿り、「だったものがまた輝ける場所」になるようにとの願いも込められています。





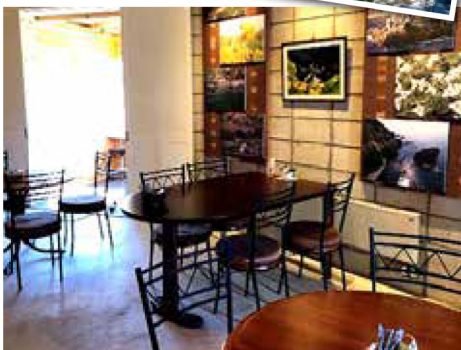
1999年に有限会社ネイチャーライヴが建設・設置した天売島の観光拠点施設

## 海の宇宙館

寺沢孝毅 × 山崎翔太  
経済学部 3年

海に浮かぶ天売島はまるで宇宙に浮かぶ地球のよう。天売島は一見、日本のはずれにある不便な島。しかし実際は天売島にはまるでここが小さな地球かと思わせるような大自然があります。「海の宇宙館」はそんな小さな地球にいるというメッセージや、天売島の存在意義を伝えたいとの想いの詰まった施設です。館内には本館創設者の寺沢さんが撮影した海鳥たちの写真が数多く展示されています。

- フェリーターミナルから徒歩10分
- tel 01648-3-9001 ●営業時間/9:00~17:00
- 「TERRA IMAGES」▶ <http://terra-images.jp>
- 「Naturelive」▶ <http://www.naturelive.jp>



疲れた時などに休めるくつろぎスペース。コーヒーやココア、ジュースなどの飲み物、さらにアイスクリームなどのスイーツもたくさんいただけます。美味しいものを食べて海鳥たちの写真を見ながらゆったりくつろごう。



海の宇宙館創設者・自然写真家

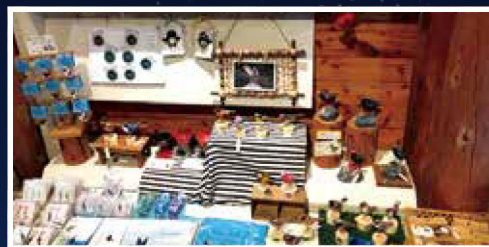
## 寺沢 孝毅 さん

北海道士別市生まれ。教師として羽幌町立天売小学校に赴任し、ここでウミガラスの激減を目の当たりにし調査を開始。退職後、海鳥の保護・調査を続けながら自然写真家としての活動を始めました。1999年天売島に「海の宇宙館」を開館し、宇宙館にて自身の写真を展示して天売島の存在意義や地球環境についての情報を発信しています。

海鳥や天売島のことが楽しく学べる!

## 「海の宇宙館」にしかないグッズたち

天売島や海鳥について学べる本や、写真集、キーホルダーなど色々な海鳥のグッズが数多く存在。天売島にきた思い出に是非!



純米酒 ケイマフリ (720ml)2本セット ¥2,580

お酒が好きな人にも「ケイマフリ」という鳥を知ってもらいたいという思いのもと製造。旭川の高砂酒造で作られ、2018年から販売開始。宇宙館と川口商店、コープさっぽろ羽幌店、留萌店にて販売。



海鳥の楽園

# 赤岩展望台

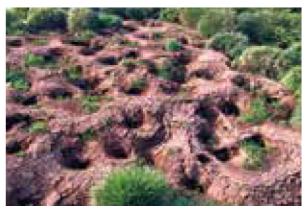
今堀 魁人 × 市川 雄二郎  
経済学部 4年

ウトウの繁殖地の真ん中に位置する赤岩展望台。5月～6月のウトウ繁殖期には、80万羽のウトウの壮観な帰巢シーンをご覧いただくことができます。展望台を進むと風になびく植物や広大な海、小さな島の大きな自然が目飛び込んできます。人の手が届いていない大自然に圧倒されます。

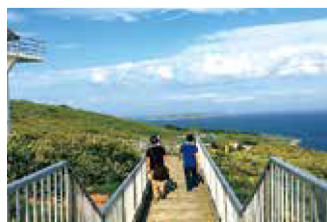


ウトウガイドに参加する学生

●フェリーターミナルから車で12分



地表に姿を見せたウトウの巣。



時間帯によって様々な姿を見せる赤岩展望台。



野鳥ガイド

## 今堀 魁人さん

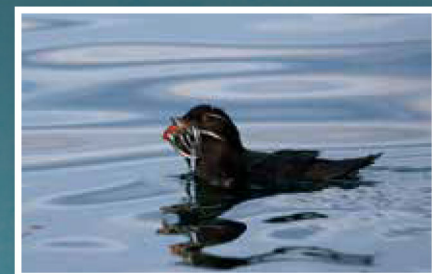
紋別市出身。希少な野鳥が多く見られることに魅力を感じて天売島へ。現在は天売島で繁殖する海鳥や渡り鳥などを観察するガイドをはじめ、写真家として写真を通じた情報発信を行っています。

ここがおすすめ!

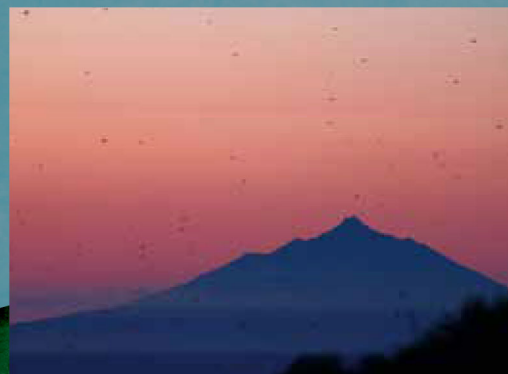
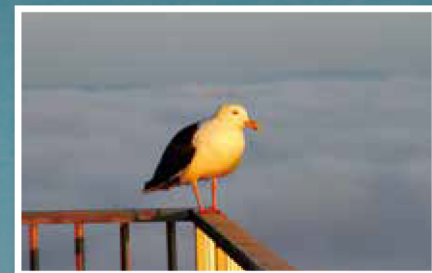
# ウトウ帰巢ナイトガイド



ウトウの繁殖期(5月～6月)に空を飛び交うウトウの姿をご覧いただけます。ウトウがくわえている魚を狙ったウミネコとの闘いも見応えがあります。周辺の草木をよく観察しましょう。自分の巣に向かって歩く可愛いウトウを見つければラッキーです!



野生のウトウ。



利尻富士とウトウ。天候が良ければ北に利尻島が見えます。利尻富士と呼ばれるその景色はとても美しいです。

## ウトウ (善知鳥) とは



天売島を最大の繁殖地とする海鳥。海に潜って漁を行います。繁殖期には十数匹もの魚をくわえたウトウが一斉に帰巢します。羽根が短いためたくさん羽ばたかなければ飛ぶことができません。さらに動きは直線的で、風を切る音と共に時速約60kmで真っ直ぐ飛び去るウトウは迫力満点。目を凝らすと力一杯羽ばたく、まるで空を飛ぶペンギンのような可愛い姿を見ることができます。



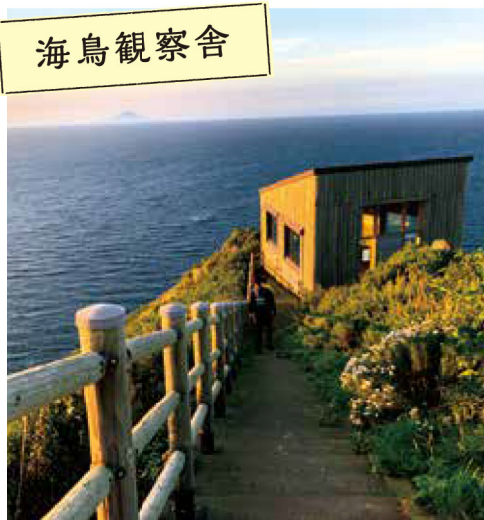
海鳥の楽園

# 海鳥観察舎／観音岬展望台

今堀 魁人 × 市川 雄二郎  
経済学部 4年



## 海鳥観察舎



起伏のある一本道を歩くと小さな小屋にたどり着きます。この海鳥観察舎に設置された望遠鏡からは海鳥たちが生活する様子を楽しむことができます。

●フェリーターミナルから車で14分

## 観音岬展望台



見開きの良い観音岬展望台からは海を一望できます。ここで見た、海鳥の群れが飛び立つ様子や海一面に照らされた美しい夕日は忘れられません。

●フェリーターミナルから車で15分

ここがおすすめ!

# 断崖と海

天売島の隆々とした断崖と天売島を包む海はまさに絶景!



## 迫力のある断崖と 広大な青い海

海鳥観察舎からは天売島の迫力満点の断崖と海を同時に見ることができます。島ならではの大自然をぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか?

## 望遠鏡で海鳥たちを 間近で見よう

海鳥観察舎の中に設置されている望遠鏡で海鳥たちの様子を見ることができます。運が良ければ子育て真っ最中の海鳥を見ることができるかもしれません。



## 観音岬展望台で 美しい夕焼けを眺める

日が沈む頃、天売島に美しい夕焼けが現れます。観音岬展望台では自然と一緒に夕日を見ることができます。これを見れば感動すること間違いなし!





# ネイチャーライヴ 自然体験

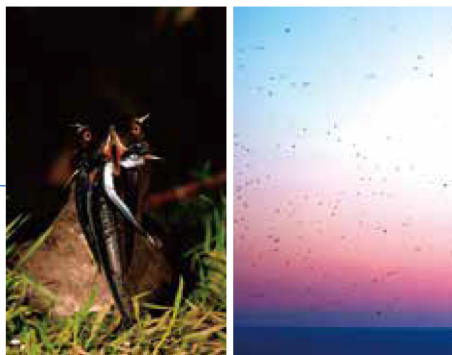
今回インタビューにご協力いただいた今堀魁人さんが  
ガイドスタッフを務める有限会社ネイチャーライヴのガイドを紹介します。

※小児(小学生以下)の料金は全て半額となります。



## ウトウ帰巢ナイトガイド

天売島は世界最大のウトウの繁殖地です。約80万羽  
のウトウの帰巢を見られるのは天売島だけ!

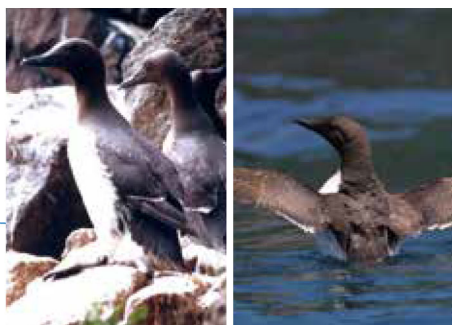


撮影/今堀魁人

- ターゲット/ウトウ、ウミネコ
- ご案内期間/4月下旬(GW)~7月
- 出発時間/19:00~(1時間少々)
- 料金/¥1,800円

## 海鳥繁殖地ガイドツアー

陸路を一周して海鳥等の自然解説をしていただきます。  
見てみたい海鳥に合わせてガイドコースをお選びい  
ただけます。



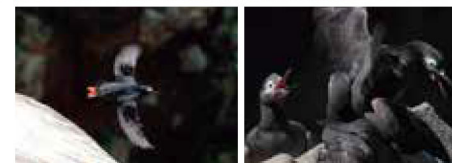
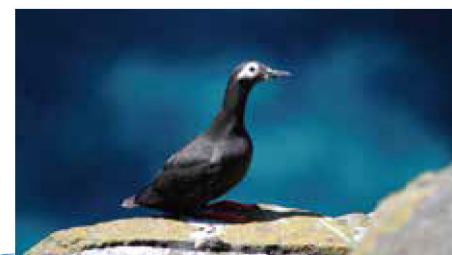
数が少なく、見ることが難しいウミガラス。(別名:オロロン鳥)

- ターゲット/ケイマフリ、ウミガラス、ウミウ
- ご案内期間/8月中旬以降(繁殖が終わったあと)も  
繁殖地の断崖景観をご案内
- 所要時間/1時間半
- 料金/¥2,200円



## ケイマフリ号

小型ボート「ケイマフリ号」に乗ってケイマフリが群  
れ浮かぶ小さな湾を目指します。赤い足が愛らしい  
ケイマフリは、国内で天売島に最も多く繁殖し、世界  
的にも見ることが難しい海鳥です。



- ターゲット/ケイマフリ、ウミガラス、ウミスズメ、ヒメウ
- 出発時間/6:00~(1時間半)
- 料金/¥7,700(一名様の場合¥10,000)

## 天売島バードウォッチングガイド

天売島を代表する海鳥や森林・草原の野鳥を観察し  
ます。その日の状況に合わせて最適地にご案内して  
いただけます。



- ターゲット/ケイマフリ、ウミネコ、ノゴマ
- 出発時間/6:00~10:00~(2時間)
- 料金/¥4,950(4月末から5月末は¥4,400)

## 野鳥観光の 注意点



### ①ゴミを捨てない

野鳥が消化できないゴミを食べると胃にゴミが溜まり、  
餓死してしまう危険性があります。

### ②餌付けしない

貰える餌に依存し、野生での生活が難しくなってい  
ます。

お問い合わせ 090-4876-9001 (海の宇宙館)  
guide@naturelive.jp



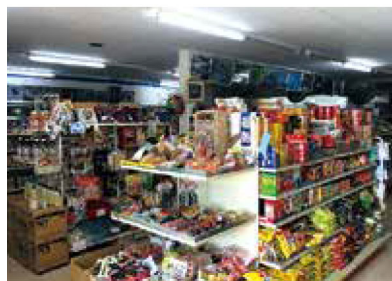
島で一番遅くまで営業。  
ここに来ればなんでも手に入る!

## 川口商店「本店」

川口晃司 × 山崎翔太  
経済学部 3年

明治28年に創業。店主は6代目。天売島にはコンビニやスーパー、薬局がないためここ「川口商店」があらゆる面において、天売島の人々の生活を支えています。食料品や日用品、薬などの全てのジャンルを請け負っています。(品揃えは仕入れ状況によって異なります。)

- 本店／フェリーターミナルから徒歩20分
- 売店／フェリーターミナルから徒歩2分
- tel 01648-3-5321
- 営業時間／8:30～21:00



ジュースやお酒はもちろん、お菓子、お肉やお魚、野菜、果物などをはじめとした食べ物類もたくさんあり、品揃えが豊富です。



天売島のお土産を買うならココ!

## 川口商店「売店」

川口晃司 × 山崎翔太  
経済学部 3年

フェリーターミナルから少し歩くと天売観光売店があります。向かって右3店舗が川口商店が運営する売店です。右から3つ目の売店の看板がかつて営業されていた「田中商店」のままになっているのでご注意ください。



天売島の海産物を使ったお土産が観光客にも大人気! 天売島の食べ物からグッズまで幅広く取り扱っております。

### おすすめのお土産

天売島の海産物がより美味しくいただける!



タコのバジルソース (140g)  
¥500



ホタテのマリネ (180g)  
¥500



つぶのウニ和え  
¥900



ヤリイカのマリネ (200g)  
¥500



6代目店主の川口晃司さん、香奈江さん。ご夫婦で経営されています。





# 神 殿 島 社 祭

◆ 健康安全  
◆ 大漁祈願

文化元年(1804年)、  
天売島に神様が祀られ、  
毎年6月にお祭りが行われます。  
法被を身にまとった男たちが、  
ニシン漁の掛け声とともに、  
約500キロの重たい御神輿を  
担いで島中を練り歩きます。

## みんなで祭りを 盛り上げる!!

開催日は毎年6月18日です。御神輿の担ぎ手が年々減少傾向にあります。お祭りを盛り上げるために観光客の方々にも法被を渡し、一緒に御神輿を担ぐこともあります。今回は学生たちも御神輿の担ぎ手として一緒に参加しました!天売島の方々と暑い一日を過ごしましょう!



## 一番熱い!!

ついにお祭りの最終局面。鳥居の下で御神輿の押し合いが始まります。通そうとする者とまだ通させないようにする者とのぶつかり合いが見所です!神様の「まだ帰りたくない」気持ちが担ぎ手に伝わっているとされています。



## 昼休憩



お昼ご飯を食べながら島の方々との交流も!



ご自宅前まで担いで行き「大漁祈願」「健康安全」を願う!



# 編集後記



△「てん」営業準備の様子



△厳島神社祭の記念撮影



△学内ミーティング



△OB・OGの先輩方との交流会

この度は冊子を読んで下さり、ありがとうございます。私たちは観光客の方々に、より天売島観光を思い出に残るものにして欲しいという願いを込めて本冊子を制作しました。これを通して天売島を楽しんでくださる方を増やすことができれば幸いです。

この活動で島民の方々にインタビューを行ってきましたが、どの方も温かく受け入れて下さりました。天売島のような小さな共同体では人との関わりがとても重要です。観光する際も多くの方と触れ合うでしょう。こうした温かい人々もまた、天売島の大きな魅力なのだと感じています。

さて、私たちは地域協働フィールドワークで空き店舗を活用した店舗営業や、

北海学園大学の大学祭への出店など様々な経験をさせていただきました。

これらが実現できたのは、私たちの「やりたい」という気持ちに本気に対応して下さった多くの方がいたためです。こうした方々への感謝の気持ちを忘れず、今までの経験を振り返り、今後の活動へ歩んでいきたいです。

最後にはなりますがご支援いただいた、おらが島活性化会議様、助成いただいたトヨタ財団様、地域協働フィールドワークに関わる北海学園大学経済学部、北海道エンブリッジ様、またこの冊子のデザインをして下さったプロコム北海道様に感謝申し上げます。(市川記)

# 北海学園大学経済学部 地域協働フィールドワークについて

2018年度までの名称は「地域インターンシップ」でした。私たちは「地域協働フィールドワーク」という授業の一環で、天売島で活動し書籍を作成しました。

## 活動目的

- 1 地域が抱える課題解決に向けた取り組みを実施することで、地域社会に貢献する。
- 2 机上で得た知識を具体的な地域の課題に応用し、実践につなげる。



## これまでの活動報告

- 2016年 8月20日～26日 第一回現地実践活動
- 11月18日 シンポジウム「地域インターンシップって何だ？天売島の実践から振り返る」の実施
- 2017年 3月 8日 第一回現地報告会
- 6月17日～18日 事前訪問にて厳島神社祭への参加
- 8月20日～25日 第二回現地実践活動
- 2018年 6月17日～18日 事前訪問にて厳島神社祭へ二度目の参加
- 8月 7日～13日 第三回現地実践活動
- 2月 5日～ 7日 第二回現地報告会
- 2月 28日 「学生がみた 移り変わる天売島」の刊行
- 3月 20日 OB・OGの先輩方との交流会
- 2019年 5月11日～13日 香川大学 直島プロジェクトの視察
- 6月17日～19日 事前訪問にて厳島神社祭へ三度目の参加
- 8月10日～15日 第四回現地実践活動
- 10月12日～14日 北海学園大学十月祭への出店  
天売島産の海産物料理を販売
- 2020年 8月17日 「学生の天売島観光ガイド てうりたび」の刊行

※本冊子で紹介したメニューや営業情報、ガイドの価格は2019年8月時点です。